事例No.	1949
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	茨城県ひたちなか市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設の集約化等 ・公共施設等総合管理計画 ・教育・子育て

事例種類	集約化・複合化事業

事例内容・タイトル

子育て支援・多世代交流施設整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

集約化・複合化事業 ③

茨城県ひたちなか市（人口15万人）「子育て支援・多世代交流施設整備事業」

事業の概要

中心市街地に立地している民間企業の遊休施設を市が取得し、老朽化した青少年センター及び生涯学習センターの機能を移転するとともに、新たに子育て支援機能及び地域交流機能を加え、複合施設として整備する。

事業のポイント

老朽化



青少年センター

＋

老朽化



生涯学習センター

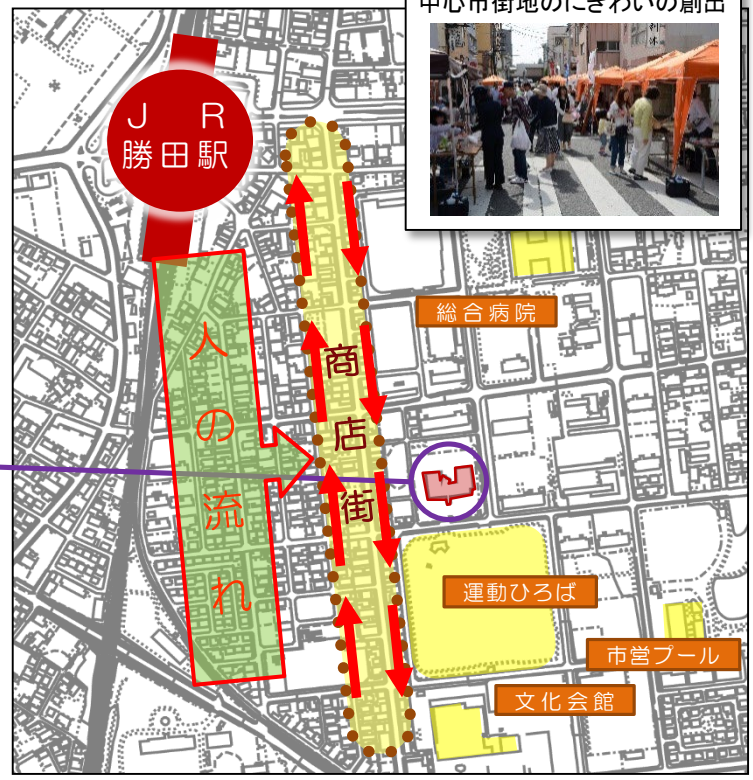
移転・複合化

○ 民間企業の遊休施設を取得し整備

複合化　青少年センター　生涯学習センター

追加　子育て支援機能　地域交流機能





中心市街地のにぎわいの創出

複合化　青少年センター及び生涯学習センターの機能を集約
公共施設最適化事業債を活用（床面積1,628㎡→1,621㎡）

追　加　子育て支援機能（プレイルーム、一時預かり室等）
及び地域交流機能（まちづくり交流スペース等）を追加

事業の効果

○ 商店街に隣接する遊休施設を有効活用することにより、利用者の利便性が向上する。
○ 利用者の異なる機能を1か所に集め、複合施設として整備することにより、多世代の交流を促進する。
○ これらによって、コミュニティの活性化を図るとともに、中心市街地のにぎわいを創出する。